

## 中1国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 86.9%

**ねらい**：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

**分析と対策**：「奮う」や「忠告」は、書き取りの問題でもよく出題されます。また、「痛み」には「傷み」という同訓の言葉もあります。同音、同訓の言葉どうしの区別ができるようにしておきましょう。

### 2 同音・同訓異字・敬語 48.5%

**ねらい**：同音異義語と同訓異字についての知識を問う。また、敬語についての知識を問う。

**分析と対策**：漢字は、表意文字でもあります。訓読みでわからないときは音読み、音読みでわからないときは訓読みと、自分の知っている言葉に置き換えられないか考えてみましょう。また、敬語は、尊敬語と謙譲語の違いを正しく理解しましょう。会話の内容や主語などから、だれの動作に敬語を用いているかに着目しましょう。

### 3 文学的文章読解 41.6%

**ねらい**：登場人物の言動などの描写から、場面や登場人物の心情などについて読み取ることができるかを問う。

**分析と対策**：(3)(6)は理由をとらえる問題です。前後の文脈をよく読んで、行動のきっかけとなっている原因を読み取りましょう。(7)は、逆境に置かれた波津子の心情を読み取る問題です。居場所のない波津子ですがそれにめげずにいる姿を読み取る問題です。(8)は、波

津子の人物像を読み取る問題です。心情は変化しますが、人物像は全体をよく読んで総合的に読み取るとよいでしょう。記号選択問題を中心に、記述問題やぬき出し問題も出題されています。ぬき出し問題は、設問文をよく読んで解答の手がかりとなる内容をとらえるようにしましょう。記述問題では、いきなり書こうとせず、解答内容を一度整理したうえで書き出すようにするとよいでしょう。

### 4 説明的文章読解 31.3%

**ねらい**：文章の内容や展開、筆者の意見を正確にとらえられているかを問う。

**分析と対策**：本文は、「流れる水、流行」と「地下水」とを対比させながら、すぐれた作品が「地下水」となって「古典」となることを述べています。(1)(4)は、細部を読み取る問題です。(2)は「地下水」についての問題、(5)は「流れる水、流行」をとらえる問題です。(6)は「古典」とはどのような作品のことであるかを読み取る問題です。長い文章が出題された場合、時間配分もカギになります。先に問題に目を通して、ヒントになりそうな言葉をチェックした上で文章を読むと効率よく問題に取りかかれます。また、本文は段落ごとにとらえたうえで、前後のつながりに気をつけ、徐々に読解していくようにするとよいでしょう。

全体の平均点は46.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。